

## 川は桜が似合う

木曽川の護岸における国土省の大きな計画がある。安心・安全の為の事業計画と思うけれど、それに伴なう負の結果も避けることが出来ない。美しい風景のエリアとして川は大きな部分を求める。繁雑に増える人工的な建造物によって自然な風景が消える場合が多い。それゆえに美しさを残してあるいはそれ以上の風景を川に求めるのも良いのである……。川こそ大きな自然を残す空間になる。美しい川畔の風景とは何か？私が考えるに工事の終わった堤防に桜の木を植えてはいいかがなものである。

一宮市の示める木曽川畔に桜を植え、大木に育った風景を想うと胸が躍る。とても単純な発想であるけれど、一案として考えてもらいたい。

## カルチャーセンター徳行寺

相生町の徳行寺さんは、カルチャーセンターである。連区のふれあいサロンの会場になり、仏事における行事はもちろんのことそれだけに終わらないで、他分野での文化的な催しへ多勢の人を集めて下さる。

愛知県における寺の数は全国一位。立派な寺を多く見るのにその活用が時代に添っていないと私はみる。寺の空間はどこまでも広くて余裕がある。その場に身を置くと心に静けさがやってくる。音楽会、講演会、作品発表等多目的な会場であるといい……。徳行寺のご住職はオペラ歌手、持ち曲を皆様にご披露を。他にもそれぞれの分野におけるアーティストの出演も多くある。徳行寺様はそのカルチャーセンターとしての場を大きく広げて文化に貢献下さる。

## 湊屋弁当

調達する弁当に使う帯封です。濃尾は一年を通して弁当を用意する機会が多い。食べる前の期待感と雰囲気を感じ込まねばならない。この帯封をすることにより格式が増幅するように……。濃尾に関わる小川光敏氏の詩がいい。青山光子氏の筆がいい……。自慢出来る帯封と思う。

### 湊屋



(旧・湊屋 文右衛門 1 号店)

橋を渡ると起の宿  
美濃路は今日も雨だつた

湊屋には老狐が棲む

地震で倒れかけたのは  
狐が防いだのだ

傘から滴り落ちる雨は  
その光に湊屋

そこに名物女将が居ると云う

美濃路五起の宿

湊屋 弁当

お弁当の世界は奥がふかいですね。

いろいろなお弁当を私達は楽しんでいます。

一般の食事と違って独特の雰囲気が込められております。

食べる前の期待感や特別なものですよね。

そんな思いで割らせていただきました。

お口に合いますれば、幸いです。

感謝

大島 八重子

